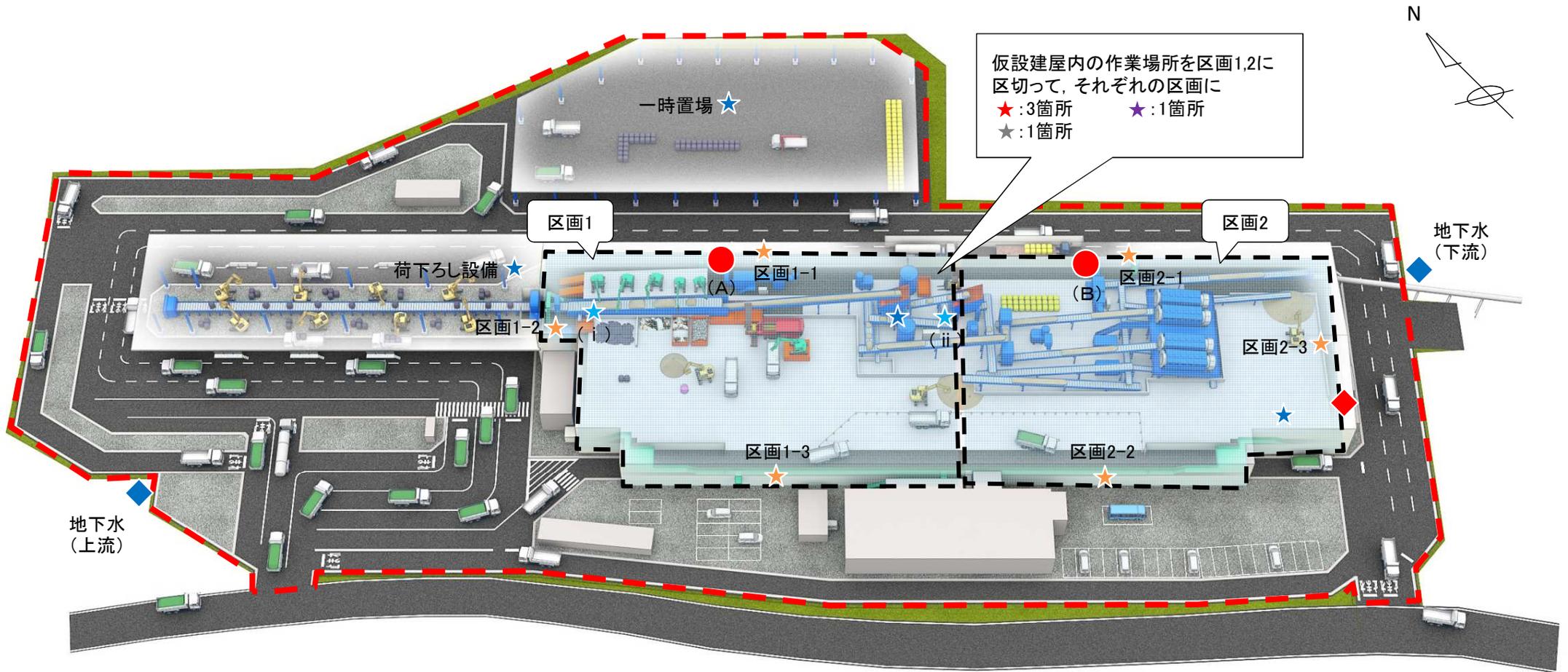


# 受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



凡例		
◆ : 地下水中の放射能濃度等	● : 排気中の放射能濃度	◆ : 排水中の放射能濃度
★ : 粉じん濃度	★ : 空間線量率(作業環境)	☆ : 空気中の放射能濃度
★ : 表面汚染密度(床)	★ : 表面汚染密度(壁)	★ : 表面汚染密度(設備)
--- : 敷地境界線		

# 受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年3月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND
	2019/3/7	(稼働後)	15	14	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	7.9	6.2	ND
	2019/3/7	(稼働後)	10	14	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/3/8 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/8 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
区画1-1	1.0
区画1-2	1.0
区画1-3	4.6
区画2-1	1.9
区画2-2	2.3
区画2-3	1.6

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/3/15 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.10
区画2	0.40
荷下ろし設備	0.22
一時置場	0.23

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/15 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/3/15 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年2月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND
	2019/2/7	(稼働後)	14	14	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	7.9	6.2	ND
	2019/2/7	(稼働後)	7.9	7.1	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/2/8 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：5.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：5.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/2/8 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
区画1-1	0.5
区画1-2	0.5
区画1-3	3.2
区画2-1	1.0
区画2-2	0.9
区画2-3	5.2

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/2/14 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.14
区画2	0.19
荷下ろし設備	0.27
一時置場	0.29

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/2/14 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/2/14 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年1月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND
	2019/1/10	(稼働後)	14	14	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	7.9	6.2	ND
	2019/1/10	(稼働後)	7.4	6.6	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/1/11 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/1/11 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
区画1-1	1.1
区画1-2	4.0
区画1-3	2.0
区画2-1	2.6
区画2-2	3.7
区画2-3	3.5

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/1/18 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.12
区画2	0.16
荷下ろし設備	0.24
一時置場	0.31

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/1/18 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2019/1/18 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年12月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND
	2018/12/6	(稼働後)	11	13	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	7.9	6.2	ND
	2018/12/6	(稼働後)	6.8	6.3	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/12/7 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部： 1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/12/7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
区画1-1	0.5
区画1-2	1.4
区画1-3	1.6
区画2-1	0.6
区画2-2	0.7
区画2-3	1.0

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/12/13 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.10
区画2	0.17
荷下ろし設備	0.23
一時置場	0.25

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/12/13 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137： 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/12/13 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年11月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND
	2018/11/1	(稼働後)			
下流	2018/6/13	(稼働前)	7.9	6.2	ND
	2018/11/1	(稼働後)			

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/11/2 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

## ◆ 排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★ 粉じん濃度

測定地点	2018/11/2 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
区画1-1	0.4
区画1-2	0.9
区画1-3	1.0
区画2-1	2.5
区画2-2	2.0
区画2-3	5.1

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★ 空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/11/15 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.12
区画2	0.17
荷下ろし設備	0.22
一時置場	0.34

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2018/11/15 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/11/15 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年10月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND
	2018/10/4	(稼働後)	9.1	9.2	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	7.9	6.2	ND
	2018/10/4	(稼働後)	5.7	5.8	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/10/11 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/10/4	(稼働後)	1.7

土壌貯蔵施設の浸出水処理施設で処理。

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/10/4 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
区画1-1	1.2
区画1-2	2.2
区画1-3	3.6
区画2-1	3.2
区画2-2	3.9
区画2-3	3.8

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/10/24 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.07
区画2	0.17
荷下ろし設備	0.23
一時置場	0.33

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/10/24 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/10/24 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年9月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND
	2018/9/6	(稼働後)	9.6	8.8	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	7.9	6.2	ND
	2018/9/6	(稼働後)	6.8	7.2	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/9/6 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働後)	ND

土壌貯蔵施設の浸出水処理施設で処理。

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/9/27 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
区画1-1	1.1
区画1-2	1.2
区画1-3	2.5
区画2-1	1.3
区画2-2	1.2
区画2-3	1.0

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/9/13 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.09
区画2	0.19
荷下ろし設備	0.23
一時置場	0.29

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/9/13 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/9/13 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年8月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND
	2018/8/2	(稼働後)	9.0	8.6	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	7.9	6.2	ND
	2018/8/2	(稼働後)	7.5	6.9	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/8/3 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/8/20	(稼働後)	ND

土壌貯蔵施設の浸出水処理施設で処理。

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/8/3 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
区画1-1	0.8
区画1-2	2.1
区画1-3	2.9
区画2-1	3.7
区画2-2	4.7
区画2-3	4.2

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/8/30 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.08
区画2	0.17
荷下ろし設備	0.23
一時置場	0.32

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/8/30 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/8/30 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年7月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND
	2018/7/20	(稼働後)	9.1	8.0	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	7.9	6.2	ND
	2018/7/20	(稼働後)	7.4	6.5	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/7/20 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/7/20 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
区画1-1	0.9
区画1-2	0.8
区画1-3	1.0
区画2-1	1.6
区画2-2	1.6
区画2-3	1.5

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/20 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.10
区画2	0.18
荷下ろし設備	0.24
一時置場	0.33

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/20 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/7/20 (稼働後)	
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>